

2016年度

日本社会教育学会 六月集会

プログラム

6月4日(土) 13:00～18:15 (受付12:30～)

6月5日(日) 10:00～16:00 (受付 9:30～)

集会日程

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
6月4日 土					受付	プロジェクト研究 ①「子ども・若者支援専門職の必要性和資質に関する研究」 ②「学びあうコミュニティを支えるコーディネーターの力量形成とその発展」			特別企画 社会教育主事講習の 見直しと地域学習支援		全国理事会
6月5日 日		受付	会場校企画 プロジェクト研究 「地域づくりと社会教育」		昼食	ラウンドテーブル ① ～ ④					

会 場 東海大学高輪キャンパス 〒108-8619 東京都港区高輪2-3-23

問い合わせ 堀本麻由子（湘南キャンパス）

電話 0463-58-1211 内線2858

尚、6月3日～5日に連絡する場合は、6月集会臨時携帯番号
（学会HPに6月2日より掲載）に直接連絡してください。

各地の研究集会

- 東北・北海道研究集会 5月28日(土)・29日(日)
(山形大学 小白川キャンパス)
- 東海・北陸地区社会教育研究集会 6月18日(土)
(名古屋大学教育学部)
- 関西研究集会 6月11日(土)
(大阪市立大学 梅田サテライト 文化交流センターホール)
- 中国・四国地区社会教育研究集会 7月2日(土)
(高知大学教育学部)
- 九州・沖縄地区六月集会 6月25日(土)・26日(日)
(大分県豊後高田市教育会館)

[第1日]

6月4日(土) プロジェクト研究／特別企画

●「子ども・若者支援専門職の必要性と資質に関する研究」————— 13:00～16:00

テーマ：子ども・若者支援に関する専門職をめぐる問題状況と課題（5）

—資格像とカリキュラム（試論）の提案

司会：上野景三（佐賀大学）

報告1 「子ども・若者支援にかかわる専門職・資格の現状と課題

—関連領域の研修システム・内容の調査から—

松田考（さっぽろ青少年女性活動協会）、川野麻衣子（奈良教育大学）

南出吉祥（岐阜大学）

報告2 「子ども・若者支援専門職の基本理念 —“第三の領域”の視点から—

生田周二（奈良教育大学） 大山 宏（東京大学（院））

報告3 「子ども・若者支援専門職の専門性と研修カリキュラム試論

—若者施設関係職員の専門性、研修テキストのあり方を中心に—

水野篤夫（京都市ユースサービス協会） 竹田明子（京都市ユースサービス協会）

七澤淳子（よこはまユース） 松本沙耶香（さっぽろ青少年女性活動協会）

コメンテーター：白水崇真子（一般社団法人ライフデザイン・ラボ 代表理事）

●「学びあうコミュニティを支えるコーディネーターの力量形成とその組織」————— 13:00～16:00

テーマ：学びあうコミュニティを支えるコーディネーターとその組織（その5）

—学校・学区を核にしたコミュニティづくりの視点から—

コーディネーター 内田和浩（北海学園大学）、渋谷かさね（静岡大学）

報告1 「地域のまちづくり推進に果たすまちづくりアドバイザーの役割」

北川洋一（京都市役所）

報告2 「教師の実践的力量形成と学び合うコミュニティとしての学校」

松木健一（福井大学教職大学院）

報告3 「地域学校協働本部における統括・地域コーディネーターに期待する役割」

渡辺栄二（文部科学省生涯学習政策局社会教育課地域・学校支援推進室長）

● 特別企画 「社会教育主事講習の見直しと地域学習支援」————— 16:15～18:15

司会 梶野光信（東京都教育庁）

報告者1 文部科学省関係者

報告者2 石井山竜平（東北大学）

[第2日]

6月5日(日) プロジェクト研究 / 会場校企画

●プロジェクト研究「地域づくりと社会教育」————— 10:00～12:30

テーマ：「地域創生政策下の地域づくりと社会教育」

司会 岡 幸江（九州大学）・田中雅文（日本女子大学）

報告者 「地方創生政策と地域づくり」 岡田知弘（京都大学）

報告者 「地域づくりと社会教育 - いくつかの論点」 高橋満（東北大学）

コメンテーター：村田和子（和歌山大学）・上野景三（佐賀大学）

●会場校企画

10:00～12:30

テーマ：「大学COC(Center of Community) 事業における社会教育の役割
—地域を志向した教育を中心として—」

司会兼コメンテーター 山本健慈（一般社団法人国立大学協会専務理事）

報告1 「全学必修科目『とちぎ終章学総論』の取り組み」 土崎雄祐（宇都宮大学）

報告2 「地域住民・公民館と連携したPBL型授業」 向井健（松本大学）

報告3 「パブリック・アチーブメント型教育導入への取り組み」

堀本麻由子（東海大学）

●ラウンドテーブル

13:30～16:00

①テーマ：労働の主体性を考える（その4）「よい仕事」とはなにか

コーディネーター：朴木佳緒留（神戸大学）

報告者：大高研道（聖学院大学）

古村伸宏（日本労働者協同組合（ワーカーズコープ）連合会）

上村俊雄（日本労働者協同組合（ワーカーズコープ）連合会センター事業団）

②テーマ：語りあう社会教育のフィールドワーク

コーディネーター：松本 大（弘前大学） 安藤耕己（山形大学）

添田祥史（福岡大学） 藤田美佳（奈良教育大学）

萩野亮吾（東京大学）

報告者：丹間康仁（帝京大学）

橋田慈子（筑波大学大学院／元国立市公民館）

③テーマ：「九条俳句不掲載問題」を考える

コーディネーター：安藤聡彦（埼玉大学／埼玉社会教育研究会）

司会：朝岡幸彦（東京農工大学）

報告者：「裁判の経過と争点について」 弁護団

『「九条俳句不掲載問題」と社会教育・公民館をめぐる課題』

長澤成次（千葉大学／本学会会長）

④テーマ：社会教育における防災教育

コーディネーター：野元弘幸（首都大学東京）

報告1：内田純一（高知大学）

報告2：野村 卓（北海道教育大学釧路校）

東海大学高輪キャンパスへの交通アクセス詳細

- ・JR・京浜急行「品川駅」下車、高輪口より徒歩約18分
（改札より右方向（田町方面）に進み、「高輪2丁目」交差点を左折）。
- ・JR・京浜急行「品川駅」下車、高輪口より都バス「目黒駅行」に乗り「高輪警察署前」下車、徒歩約3分。
- ・東京メトロ南北線・都営地下鉄三田線「白金高輪駅」下車、出口1から左に進み、徒歩約8分。
- ・都営地下鉄浅草線「泉岳寺駅」下車、A2出口より徒歩約10分。



東北・北海道研究集会

会場 山形大学 小白川キャンパス

日 時：2016年5月28日（土）13時30分～17時

5月29日（日）9時30分～16時

5月28日 シンポジウム

テーマ：地域再生と社会教育（その6）

—山形にみる「地域学習」の系譜と今日的展開—

報告者：宮崎隆志（北海道大学）

佐藤一子（東京大学名誉教授）

5月29日 自由研究報告

会 場：山形大学地域教育文化学部（小白川キャンパス）

〒990-8560 山形県山形市小白川町1-4-12

交通案内：JR山形駅前から県庁行きで山形南高校前（山大入口）

下車、そこから徒歩5分。

JR仙台駅前から高速バス（約65分）で山形南高校前

（山大入口）下車、そこから徒歩5分。

JR山形駅前から徒歩（約25分）

連絡先：山形市小白川町1-4-12 山形大学地域教育文化学部 安藤 耕己

電話：023-628-4366 e-mail：andok@e.yamagata-u.ac.jp



東海・北陸地区社会教育研究集会

会場 名古屋大学教育学部 第3講義室（2階）

日時：6月18日（土）10：00～17：00

テーマ：共同学習・生活史学習の再評価

午前の部：基調報告と討論（10:00～12:30） 司会 渋谷かさね（静岡大学）

基調報告 共同学習・生活史学習の教育学的再検討 姉崎洋一（北海道大学名誉教授）

午後の部：シンポジウム（13:30～17:00） 司会 松田武雄（名古屋大学）

報告 1. 名古屋市における生活史学習～生活史学習参加者によるリレートーク～

2. 名古屋市における青年活動と生活史学習 伊藤彰男（三重大学名誉教授）

3. 生活史学習における社会教育職員の役割 加藤良治（愛知大学）

4. 生活史学習の具体的展開～名古屋市青年大学講座と大学教育実践

大村 恵（愛知教育大学）

懇親会（17:00～18:30）

会 場：名古屋大学教育学部 第3講義室（2階）

会場住所：〒464-8601 名古屋市千種区不老町

交通案内：JR名古屋駅から地下鉄東山線「藤が丘」行きに乗り、「本山」で地下鉄名城線右回りに乗り換え、「名古屋大学」下車、1番出口から徒歩5分（名古屋駅から約30分）

JR金山駅・名鉄金山駅からの場合、地下鉄名城線左回りに乗り、「名古屋大学」下車（所要時間約25分）

連絡先：大村 恵（愛知教育大学）

TEL:0566-26-2289 FAX:0566-26-2210(共通)

E-mail：mohmura@auecc.aichi-edu.ac.jp



第40回 関西研究集会

会場 大阪市立大学 梅田サテライト 文化交流センターホール

日時：6月11日（土）10:30～16:30

テーマ：「夜間中学」のこれまで・いま・これから

午前の部

司会：阿久澤麻里子（大阪市立学）

基調報告「夜間中学を取り巻く現状と今後の可能性

—『多様な教育機会確保法』案をめぐって—

藤田美佳（奈良教育大学）

コメンテーター 岩槻知也（京都女子大学）

午後の部

パネルディスカッション：社会教育の観点から考える「夜間中学」

のこれから

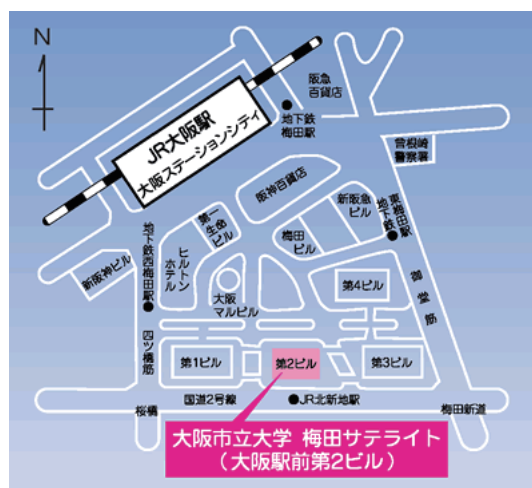
コーディネーター：森実（大阪教育大学）

報告1「太平寺中学校の取り組み」

黒川優子（東大阪市立布施中学校教諭）

報告2「昼と夜の学びを結ぶ実践～京都市洛友中からのメッセージ」岡田敏之（京都教育大学）

報告3『「夜間中学ハンドブック」発行をめぐって』小林建太（学びリンク（株））



会場：大阪市立大学 梅田サテライト 文化交流センターホール

会場住所：〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-600（大阪駅前第2ビル6階）

交通案内：JR東西線「北新地駅」下車 徒歩約3分、JR大阪環状線・東海道線「大阪駅」下車 徒歩約10分、地下鉄四つ橋線「西梅田駅」下車 徒歩約5分、地下鉄谷町線「東梅田駅」下車 徒歩約10分、地下鉄御堂筋線「梅田駅」下車 徒歩約10分 阪神電鉄「梅田駅」下車、徒歩約10分、阪急電鉄「梅田駅」下車、徒歩約15分

参加費（資料代）：500円

終了後、会費制の交流会を予定しています。参加を希望される方は、下記にお申し込みください。

連絡先：赤尾勝己（関西大学）メール：t950027@kansai-u.ac.jp FAX：06-6387-7592

第17回 中国・四国地区社会教育研究集会

会場 高知大学

日時：7月2日（土）13:00～17:00

テーマ：住民自治と社会教育（その1）

発題 自治の力を生み出す地域学習の広がり和社会教育の課題 内田純一（高知大学）

報告1 学校支援から地域支援へ～南国市稲生地区の取り組み～ 前田学浩（集落活動センターチーム稲生）

報告2 土佐山アカデミーにおける地域づくり 吉富慎作（土佐山アカデミー）

報告3 佐川町における斗賀野元気村づくり 庄野孝也（斗賀野元気村）

コメンテーター 斉藤雅洋（高知大学）

会場：高知大学教育学部 第一会議室

交通案内

● JR高知駅から車で約20分

バスで約25分「朝倉高知大学前」下車

路面電車で約30分「朝倉（高知大学前）」下車すぐ

JR土讃線下り15分「朝倉駅」下車徒歩3分

● 高速道路から

高知インターチェンジから 車で約30分 伊野インターチェンジから 車で約5分

● 高知龍馬空港から車で約45分 空港連絡バスで約35分「はりまや橋」か、約40分「JR高知駅」下車→バス、路面電車またはJR土讃線へお乗り換えください。

連絡先 高知市曙町2-5-1 高知大学地域協働学部 内田純一 TEL/FAX 088-844-8940（直通）

E-mail: uchida@kochi-u.ac.jp



日時 6月25日(土) 13:30～16:30 公開シンポジウム ※終了後に懇親会を予定

26日(日) 9:30～13:00 エクスカーション(昭和の町にて)

全体テーマ 「子育てから始める地域づくりと社会教育」

公開シンポジウム

登壇者 ・中野五郎氏(臼杵市長)

・清成芳文氏(豊後高田市学校教育課指導主事)

・山本淳行氏(豊後高田市観光まちづくり株式会社)

司会者 ・岡幸江(九州大学)、長尾秀吉(別府大学)

シンポジウム会場 豊後高田市教育会館

大分県豊後高田市玉津984-1 電話0978-22-2359

交通案内

JR日豊本線宇佐駅より大分交通のバス(119番)に乗車。約15分。

バスは「宇佐駅前」乗車、「新屋敷」下車して南西(高田中央公民館)方面へ徒歩5分。

高田中央公民館の道向かいが教育会館。※バスは一時間半に1本程度なのでご注意ください。

エクスカーションの案内

目的: 豊後高田の地域づくりを学ぶ

時間: 9:30～13:00

場所: 昭和の町・昭和ロマン蔵内の「夢町小学校」

連絡先

長尾秀吉(別府大学)

T E L 0977-67-0101(内線462)

E-Mail nagao@nm.beppu-u.ac.jp



日本社会教育学会 事務局

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨1-24-1 第2ユニオンビル4F

(株) ガリレオ 学会業務情報化センター内

TEL: 03-5981-9824 FAX: 03-5981-9852

E-mail g029jsace-mng@ml.gakkai.ne.jp